

令和4年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名 泉佐野市 (都道府県: 大阪府)

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業																																	
区分	結婚に対する取組																																	
関連事業メニュー	2.1.3 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組																																	
個別事業名	出合いの機会創出事業	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続																															
実施期間	交付決定日	～	令和5年3月31日	事業開始年度 平成28 年度																														
対象経費支出予定額 ※(注)1	2,880,000 円																																	
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	泉佐野市においては、少子化対策を「泉佐野市まち・ひと・しごと総合戦略」の中で取りまとめ、若い世帯が将来に夢を持って地域で暮らし続けるための施策を総合的に展開しているが、令和2年度出生数は643件と、過去と比べて減少傾向にあり少子化が進行しているため、今後も若い世代の結婚への経済的支援、安心して出産・子育てが行える支援を充実させる必要がある。 第5次泉佐野市総合計画における少子化対策における「泉佐野市まち、ひと、しごと創生総合戦略」の中で「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を基本に、出合いの支援事業と位置づけ、結婚イベント等の共催、後援など、結婚希望者の出合いの機会創出事業(異性との交際・結婚を望みながらも、その相手に出会えていない独身男女に出合いの場を提供するための体験型イベント等)を下記のとおり実施しているところであるが、効果検証は困難ではあるが、出合いの機会を提供することが出来ても結婚まで至らないという実情から、本年度は定住促進を図るとともに、参加者が継続して当市と関わりが持てる関係人口や交流人口の増加につながる目的を加えた事業として「泉佐野市出合いの機会創出事業(結婚に向けた活動支援)」を実施する。 <table><thead><tr><th></th><th>イベント回数</th><th>参加人数</th><th>カップル成立数</th><th>成婚数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H28</td><td>4回</td><td>60人</td><td>21組</td><td>0人</td></tr><tr><td>H29</td><td>3回</td><td>178人</td><td>23組</td><td>0人</td></tr><tr><td>H30</td><td>3回</td><td>200人</td><td>19組</td><td>0人</td></tr><tr><td>R 1</td><td>3回</td><td>132人</td><td>24組</td><td>0人</td></tr><tr><td>R 2</td><td colspan="4">事業中止(コロナの影響)</td></tr></tbody></table>					イベント回数	参加人数	カップル成立数	成婚数	H28	4回	60人	21組	0人	H29	3回	178人	23組	0人	H30	3回	200人	19組	0人	R 1	3回	132人	24組	0人	R 2	事業中止(コロナの影響)			
	イベント回数	参加人数	カップル成立数	成婚数																														
H28	4回	60人	21組	0人																														
H29	3回	178人	23組	0人																														
H30	3回	200人	19組	0人																														
R 1	3回	132人	24組	0人																														
R 2	事業中止(コロナの影響)																																	
個別事業の内容 ※(注)3	＜個別事業における現状と課題＞ 泉佐野市(以下「市」という。)の少子化対策事業においては、国の少子化社会対策大綱を踏まえ、「泉佐野市まち・ひと・しごと総合戦略」の中で取りまとめ、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を基本目標とし、総合的な取り組みを進めているところである。 若い世代の結婚をめぐる状況を見ると結婚を希望しながら「適当な相手にめぐり合わない」「資金が足りない」など、出合いの機会の減少、経済的な不安定、仕事と子育ての両立の難しさなどが希望の実現を阻む様々な要因が複雑に絡み合っている中、本市では平成28年度から出合いの機会創出事業(異性との交際・結婚を望みながらも、その相手に出会えていない独身男女に出合いの場を提供するための体験型イベント等)実施してきたが、出合いの機会を提供することが出来ても結婚まで至らないという実情(課題)から、本年度は定住促進を図るとともに、参加者が継続して当市と関わりが持てる関係人口や交流人口の増加につながる目的を加えた事業として「泉佐野市出合いの機会創出事業(結婚に向けた活動支援)」を実施する。 ＜課題への対応＞ 本市でも、結婚・子育て世代が将来にわたる展望を描けるよう、希望の実現を後押しし、家族を持つ喜びや楽しみを実感できる事業を推進する必要があると認識し、参加者が継続して当市と関わりが持てる関係人口や交流人口の増加につながる出合いの場を提供するための体験型婚活イベント等を開催する。この事業について、民間等の知識やノウハウなどを活用することで、より効果的・効率的に高い業績指標を達成するため、企画提案公募により受託業者を募集する。 ＜取組内容＞ テクノロジーの凄まじい発展により新しい出合いの形等、出合いそのものが容易になりつつありながら、一方で社会の外的要因等による生活スタイルの多様化により未婚や晩婚化が進み、結婚率が減少している状況である。出合いの場を提供する事業は、民間において全国的に展開されているが、出合いの機会を提供することが出来ても結婚まで至らないという実情(課題)があるため、今年度は泉佐野市ならではの独自性溢れる「想いに残る出合いの機会創出事業」を実施することで、参加者に対し、シビックプライドの醸成や当該事業をキッカケに婚活だけでなく、本市の魅力を創意工夫により伝え、定住人口はもとより、関係人口や交流人口としてのファンや関係性の繋がりがも増加させるため、異性との交際・結婚を望みながらも、その相手に出会えていない独身男女に対し、出合いの場を提供するための体験型婚活イベント等を開催する。 ただし、事業実施に際しては、新型コロナウイルス感染症予防に最善の配慮を行うこと。参加者にはアンケート調査を実施し、回収後は結果分析の上、報告書を作成する。 ○結婚イベント(定員40名男女各20名)基本1回開催(マッチング事業の登録状況やコロナ感染予防配慮の場合は変更有) マッチング事業に参加し、将来的に本市と関わりたい者及びカップル成立の可能性が高いと判断された者が対象となるイベントとなり、参加者は、本市の魅力を体感するため、本市の古民家でBBQやキャンピングカー(受託業者のアセット)で観光スポットを巡り、参加者の結婚意欲を高め、将来的に本市と関わりが持つようなイベントになることを目指す。 結婚イベント【委託料130万】 ・人件費(司会コーディネート謝金、スタッフ、運転手、補助員等)350千円 ・イベント費用(食糧費は除く)400千円 ・施設、キャンピングカー使用料400千円 ・広告宣伝費(SNS発信、ポスター等)50千円 ・その他(分析、実績報告書作成、コロナ感染予防対策費)100千円																																	

別
事
業
の
内
容

○<u>マッチング事業:マッチングを実現するための取組</u> オンラインイベント(定員30名男女各15名)×2回を1セット×2回 結婚を希望する本人やその家族に対し出会いの機会・場の提供するため、マッチング事業に登録して、オンラインにより、引き合わせを行い、趣味や思考を伝え、最終的に結婚イベントに参加できるように支援する。 具体的な取組として、異性との交際・結婚を望む独身男女に対し、結婚イベントの参加を前提にオンラインイベントの参加者を募集し、あらかじめ、アンケート等に回答のうえ、参加登録し、オンラインイベントに招待する。オンラインイベントでファシリテーターがマッチング支援し、結婚イベントに参加できるように誘導する。 オンラインイベント【委託料130万】 ・人件費(司会コーディネイト等、相談員謝金)400千円 ・運営費(オンラインシステム)500千円 ・広告宣伝費(SNS発信、ポスター等)400千円 ○<u>結婚セミナー:企業による結婚支援</u> 基本1回 セミナー(定員30)×2 ※共同開催も含 最終的に結婚イベントに参加するためには、異性とのコミュニケーションが苦手や次のステップへ進めない等、出会いの機会を提供することが出来ても結婚まで至らないことから、本年度の業務は定住促進を図るとともに、参加者が継続して当市と関わりが持てる関係人口や交流人口の増加につながる目的を加え、本市の関わりのある企業と共同又は交流等により、結婚を希望する社員等を対象とした結婚セミナー等を開催する。【委託料27万】 ・人件費(司会コーディネイト等、相談員謝金)50千円 ・運営費(オンラインセミナー、相談会)110千円 ・講師謝金100千円 ・その他10千円 ○<u>地域ポイント取扱い委託料【補助対象外(市単費により実施)】</u>(@2500円×20人×2回分) 「さのぼ」は泉佐野市の地域ポイントカードで、泉佐野市内の加盟店でお買い物をしたり、市の事業に参加するとポイントが貯まり、そのポイントを使って、またお買い物ができ、泉佐野市外の方もお使いいただける事業です。 100円のお買い物ごとに1ポイントが貯まり、使う場合は1ポイント1円としてお使いいただけます。 今回のイベント参加者にカップル成立に関係なく、地域ポイントを作成し、参加費等をポイントで還元し、イベント後も本市で買い物等でかわるよう実施する。 【次年度以降に向けた事業の方向性】 <u>継続、拡大、結婚支援の取組でAIを活用したマッチングシステム等の導入を検討する。</u> 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 特になし 【事業実施にあたっての留意点】 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を配慮して実施する。 事業の性質上、短期間では成果は表れにくいいため、事業を継続して実施する必要がある。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	結婚イベントとの共催等件数	件	10件（累計）5年間	13
	セミナー・啓発事業等の実施回数	回	10回（累計）5年間	10
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	1.31（平成29年度）	
	婚姻件数	件	968（令和2年度）	
	婚姻率	%	9.70（令和2年度）	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	○結婚イベント			
	目標参加者 20人 達成率	%	100	－
	お試し同棲参加者	%	70	－
	○マッチング事業			
	新規参加目標数	人	30	－
	オンラインマッチング参加者数	人	60	46
	オンラインマッチング後の結婚イベント参加希望者数	人	45	35
	オンラインマッチング後による本市への認知度（高評価の割合）	%	90	42
	○結婚セミナー			
	マッチング事業に参加する企業団体等参加者数	人	30	－
	オンラインマッチング参加者数	人	20	－
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	各自治体単独で取組を行うより、連携及び合同でイベント等開催することが効果的・効果的と考え、共同実施に向け、近隣市町や、特産品協定等本市と関わりのある市町に呼びかける。また、参加募集の協力体制を構築する。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	民間等の知識やノウハウなどを活用することで、より効果的・効率的に高い業績指標を達成するため、企画提案公募により受託業者を募集する。			
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	有			
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無			

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額（補助率を乗じる前の額）を記入すること。また、金額の根拠となる資料（見積書等）を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付けを記載すること。
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
- ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和4年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
- ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
- ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。